

研 究 計 画 申 請 書

令和 7年 4月 30日

JCHO 三島総合病院
倫理委員会委員長 様

申請者名
(研究実施責任者) 望月 一磨 

* 受付番号 R7-01

<p>1. 研究課題名 FIM 研修会が評価精度に及ぼす効果の検証</p>
<p>2. 共同研究者 (氏名及び所属) リハビリテーションセンター：松岡勇志 尾熊洋子 付属介護老人保健施設診療部：中川知哉 看護部：小川麻由美 勝又裕美子 瀬戸由貴 寺田由美子</p>
<p>3. 研究などの概要 看護・リハビリ職員を対象に FIM 勉強会を実施し、研修前後に行なった模擬症例における FIM 評価の採点結果から、各評価項目における難易度や特徴を調査した。</p>
<p>4. 研究などの対象、実施場所及び期間 対象：病棟看護師・リハビリ職員 計 89 名 除外基準：回答の記入漏れがある職員 実施期間：2024 年 9 月～11 月</p>

注意事項 *印欄は記入しないこと。

5. 研究の対象となる個人の個人情報擁護

データは個人を特定できないように配慮し、FIM 評価の正答が業務に影響を及ぼさないように配慮した。

6. 対象者（本人及び家族）に理解を求め、同意を得る方法
（同意書も添付のこと）

FIM 評価用紙に本研究の説明及びデータ提供の依頼を記載し、対象者より自署にて同意を得た。

7. 研究によって生じる対象者への不利益と医学上の利益または貢献度の予測

該当データをナンバリングし個人を特定できないように配慮したため対象者への不利益はない。また受審予定の病院機能評価において、年に一度以上の ADL 研修会の開催は義務付けられている。アウトカム指標を多職種で統一的に評価することで、医療サービスの質向上や患者満足度の向上に繋がるのではないかと考えられる。

8. その他

模擬症例資料添付